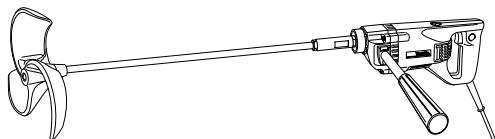


makita

取扱説明書

力クハン機

モデル UT2203



本機はシングル絶縁構造ですので必ず接地（アース）してください。

このたびは**カクハン機**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



主要機能

主要機能	モデル
電動機	直巻整流子電動機
電圧	単相交流 100V
電流	9.0A
周波数	50-60Hz
消費電力	850W
回転数	550min ⁻¹ (回転 / 分)
ミキシングブレード	直径 220mm
機体寸法	長さ 922mm × 幅 89mm × 高さ 142mm
質量	4.2kg

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の **△警告** · **△注意** · **注** の意味について

ご使用上の注意事項は **△警告** と **△注意** · **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

△警告

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**△注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

: 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

JPA001-2

- ・火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
2. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
3. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - ・作業場は十分に明るくしてください。
 - ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
4. 感電に注意してください。
 - ・電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
5. 子供を近づけないでください。
 - ・作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・作業者以外、作業場へ近づけないでください。
6. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。
7. 無理して使用しないでください。
 - ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
8. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。
9. きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。

⚠ 警告

10. 保護めがねを使用してください。

- ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

11. 防音保護具を着用してください。

- ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

12. コードを乱暴に扱わないでください。

- ・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- ・ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

13. 加工する物をしっかりと固定してください。

- ・ 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。
- ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- ・ 使用しない、または、修理する場合。
- ・ 刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。
- ・ その他危険が予想される場合。

17. 調節キーやレンチ等は、必ず取りはずしてください。

- ・ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取りはずしてあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。

- ・ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ・ プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたは、キャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠ 警告

20. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・ 常識を働かせてください。
- ・ 疲れている場合は、使用しないでください。

21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所で修理を行なってください。
- ・ スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

22. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ 本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- ・ 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

力クハン機安全上のご注意

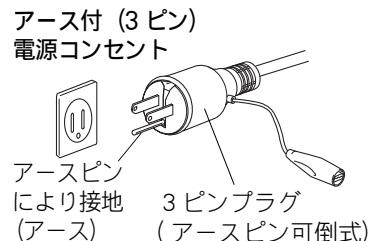
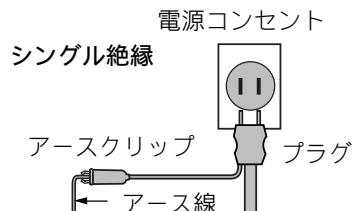
先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、力クハン機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

JPB114-1

⚠ 警告

1. 必ず接地（アース）してください。

- ・ 故障や漏電の時、感電する原因になります。
- ・ 接地は、プラグの横から出ているアースクリップをアース線に接続してください。
- ・ 3ピンプラグ（アースピン可倒式）の場合は、電源コンセントに合わせて、接地（アース）してください。
- ・ アース付（3ピン）電源コンセントの場合 3ピンプラグを電源コンセントに差し込んでください。（アースクリップによる接地（アース）は不要）



2. 2極電源コンセントの場合

- アースクリップをアース線に接続してください。
- ・ アースクリップやアースピン、アース線に異常がないか確認してください。
 - ・ テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたら、アースクリップ、アースピンと機械本体の金属（外郭部）間の導通を確認してください。
 - ・ アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続するような電気工事は、電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事店に相談してください。
 - ・ 接地と共に漏電防止用漏電しゃ断器の設置された電源に、接続されることをお奨めします。
 - ・ 漏電しゃ断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。
※労働安全衛生規則 第333条・第334条
電気設備の技術基準 第18条・第28条・第41条
- ### 2. アース線をガス管に接続しないでください。
- ・ 爆発の恐れがあります。



⚠ 警告

3. つなぎコードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを、使用してください。
 - ・アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。
4. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
5. シンナーを溶剤とする塗料など、引火性の高い材料の攪拌作業には使用しないでください。
 - ・事故の原因になります。
6. 使用中は、振り回されないよう本体を確実に保持してください。
 - ・確実に保持していないと、けがの原因になります。
7. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
8. 誤って落としたり、ぶつけたときは、ミキシングブレードや機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. ミキシングブレードは、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 作業前には、ミキシングブレードから身体を離し、試運転を行ない異常な振動がないか確認してください。
 - ・ 事故の原因になります。
3. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
4. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - ・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

注

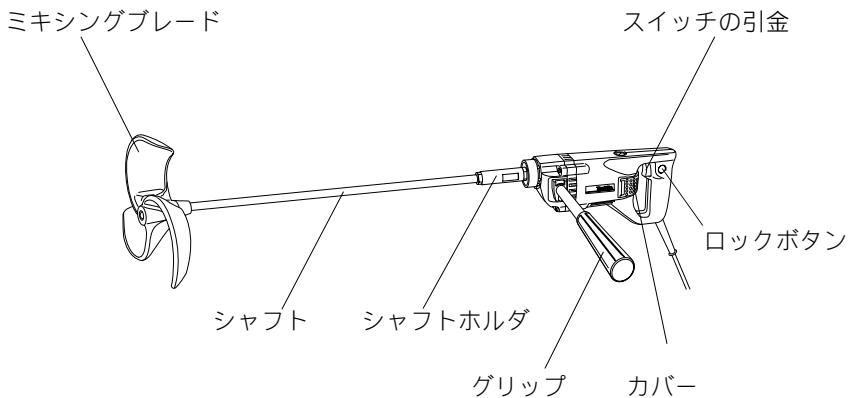
- ・ 電源が離れていて、つなぎコードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードができるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ (導体公称断面積)	コードの最大長さ	銘板記載の定格電流値		
		~ 5A	5 ~ 10A	10 ~ 15A
0.75mm ²	20m	—	—	—
1.25mm ²	30m	15m	10m	—
2.00mm ²	50m	30m	20m	—

- ・ つなぎコードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

- ・ スパナ 13.... 1
- ・ スパナ 19 2



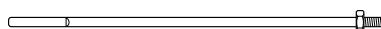
別販売品のご紹介

- 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただけ、お買い上げ販売店もしくは、裏表紙掲載の直営事業所へお問い合わせください。

名称	ミキシング ブレード 220	ミキシング ブレード 135	ミキシング ブレード 183	ミキシング ブレード 175	ミキシング ブレード 190
			※ 2段羽根対応		※ 2段羽根対応
部品番号	315113-7	315862-6	315864-2	315863-4	A-33065
用途	漆喰、モルタルおよび粘度の高い塗料の攪拌に				

・ シャフト

部品番号：168351-8



※ シャフトとミキシングブレード 220 の固定には
六角ボルト M8 × 16 (部品番号：265440-1) が必要です。

使い方

シャフトおよびミキシングブレードの取り付け、取りはずし方

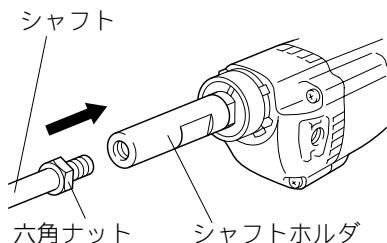
⚠ 警告

シャフトおよびミキシングブレードの取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。

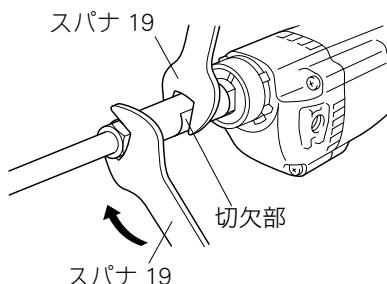
- ・ プラグを電源につないだまま行うと、事故の原因になります。

シャフトの取り付け方

- ・ 六角ナット付のシャフトをシャフトホルダに六角ナットが当たるまで締め付けてください。

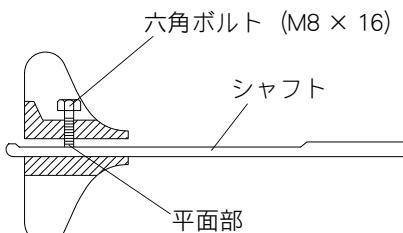
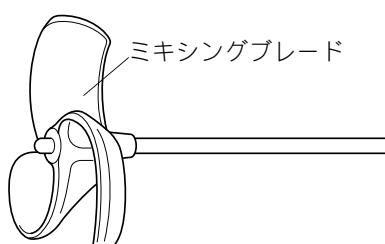


- ・ シャフトホルダの切欠部をスパナ 19 で押さえながら別のスパナ 19 で六角ナットを矢印の方向に締め付けてください。



ミキシングブレードの取り付け方

- ・ シャフトの先端にミキシングブレードを通し、六角ボルトで締め付けます。



- ・ 六角ボルトの先端がシャフトの平面部にくるよう必ず位置を合わせてスパナ 13 で締め付けてください。

使い方

スイッチの操作

⚠ 警告

電源にプラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・スイッチを入れたままプラグを差し込むと急に動き出し事故の原因になります。
- ・スイッチは引金を引くと入り、離すと切れます。スイッチの引金を引いてからロックボタンを押し込むと、引金を離しても引金が固定され連続運転します。
停止させるにはもう一度引金を引いてロックボタンが戻ってから、引金を離してください。

攪拌（かくはん）の仕方

⚠ 警告

シンナーを溶剤とする塗料など、引火性の高い材料の攪拌作業には使用しないでください。

- ・事故の原因になります。

1. 攪拌する時は本機のハンドル部およびグリップを両手でしっかりと持ち、ミキシングブレードを容器の中に入れて、安全を確認してからスイッチを入れてください。
2. 攪拌中は容器の隅に未混合分が残らないように容器の壁に沿ってミキシングブレードをゆっくり上下させてください。
3. 作業を終了する時は、スイッチを切り、回転が完全に停止したことを確認した上でミキシングブレードを容器から引き出してください。

保守・点検について

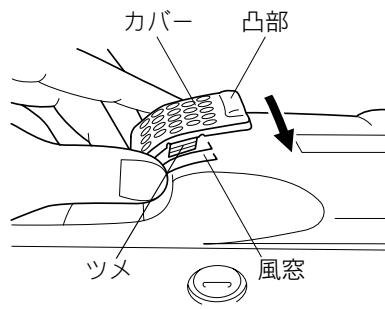
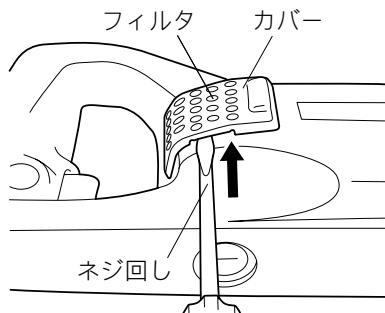
⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- ・ プラグを電源につないだまま行うと、感電や事故の原因になります。

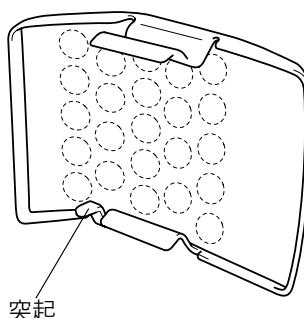
フィルタの交換

- ・ フィルタの目づまりは本機の冷却能力を低下させますので、定期的に交換してください。
- ・ 図のように一のネジ回し等で本機とカバーのすきまに差し込み、すくいあげるようにしてカバーをはずしてください。
- ・ カバーの中のフィルタを交換してください。
- ・ カバーの凸部をチャック側に向か突起が一番長い風窓に入るようにしつめを風窓にしっかりと差し込んでください。
- ・ もう一方のフィルタも同様に交換してください。



注

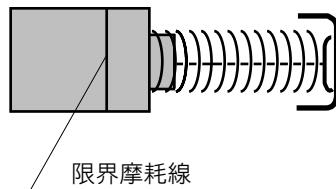
- ・ 2つのカバーの形状は異なります。一方の風窓のカバーは、他方の風窓には取り付きません。



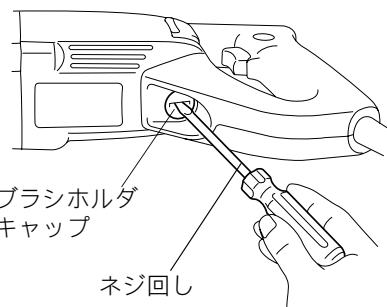
保守・点検について

カーボンブラシの交換

- カーボンブラシは時々、取りはずして点検してください。
カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。
新品と交換する際は、必ず弊社指定のカーボンブラシをご使用ください。



- ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。
カーボンブラシは2個で1組になっております。取り替える場合は、必ず同時にやってください。



保管の際には

- ご使用後は本体やミキシングブレード・シャフトについていた汚れを落としてから保管してください。

ご修理の際は

- 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い求めの弊社登録販売店または裏面掲載の直営事業所にお申しつけください。

